

ICタグについて

『令和6年度 図書館事業計画』

1 重点課題

(2) ICタグシステム関連機器の導入

図書館での資料貸出において、自動貸出機や予約本受取コーナーによるセルフサービス化を進め、利用者のプライバシー保護に配慮したより便利で快適に利用できる図書館サービスを提供するとともに、職員の人的資源の効率的な配置により、新たなサービスを提供する。

※ ICタグとは、荷札や商品ラベルといったタグの中にICチップとアンテナを埋め込み、無線技術を利用し離れた場所からICの情報を読み取り効率的に管理するもの。

バーコードに対してはるかに多い情報量を記憶でき、情報を直接触れることなく瞬時に読み取り可能など、技術的に優れており、流通業界等で導入が進む技術。

行革プラン関連事業

新規

図書館でのICタグシステムの導入

令和6年度中にICタグシステムを導入し、文化会館たづくりに予約本の受け取りコーナーを設置。

